プールで水上スキー

海洋性スポーツを楽しんでもらおうと、6月27日、三蒲のB&G海洋センタープールで、OPヨットと水上スキー体験会が開催され、町内外から41名の小学生が参加しました。

OPヨット体験は10台の扇風機を使い、ヨットの推進力を体感。水上スキー体験は、水上スキージャンプの全日本チャンピオン山本雄一さん（大分県）の指導のもと行われ、短い時間ながら、たくさんの子どもたちが上手に滑れるようになりました。

青年海外協力隊でパプアニューギニアへ

長和剛平さん（油宇）が青年海外協力隊員としてパプアニューギニアへ派遣されることになり、出発を間近に控えた6月22日、町長を表敬訪問されました。

派遣期間は本年7月から2年間で、ニューブリテン島のラバウル近くの高校でコンピュータ技術の授業をされます。「1人でも多くの人にコンピュータの利便性や楽しさを伝えたい。将来、パプアニューギニア独特のものを生かして会社を作る人がでてくれるとうれしい。」と抱負を話してくれました。

周防大島町からは今回で16人目の隊員となるそうです。

四境の役―五〇周年連載コラム③

大島商船高等専門学校　准教授　田口由香

▼第一次長州出兵

第一次長州出兵とは、朝廷と幕府が、禁門の変で御所の方面に向かって発砲した長州藩を朝廷の敵（朝敵）として、諸藩に追討を命じたものです。長州征伐とも呼ばれます。元治元年（一八六四年）八月、将軍徳川家茂は、前尾張藩主徳川慶勝に征長総督、越前藩主松平茂昭に副将を命じました。征長軍の本営は広島藩に置かれ、三五藩が安芸（広島）・石見（島根）・四国から山口に攻め寄せる陣営に配置されました。

長州藩内では、保守派（俗論派）が幕府に一途に謝罪する「純一恭順」を、急進派（正義派）が恭順を示しながらも攻撃を受けた場合には抗戦する「武備恭順」を主張して対立しました。九月、急進派の井上馨が襲撃されて重傷を負い、周布政之助が自刃すると、保守派の勢力が強くなり、長州藩は「純一恭順」方針をとることになります。十一月には、幕府に謝罪を示すため、禁門の変に出陣した益田右衛門介・国司信濃・福原越後の三家老に切腹を命じました。十二月、征長総督徳川慶勝が長州藩の服罪を認めて撤兵令を出したため、第一次長州出兵は戦闘に至らずに終結しました。

その一方で、長州藩内では保守派に反対する動きが高まっていました。終に、十二月十五日、高杉晋作が保守派打倒のために下関の功山寺で決起します。これをきっかけに、長州藩は、藩内で保守派と急進派が戦う「元治の内乱」に突入することになったのです。

◎次回は「第二次長州出兵」についてです。

8月8日(土)、講座「幕末長州藩と大島口の戦い」を開催します。詳細は21ページをご覧ください。

▲高杉晋作騎馬像　　功山寺（下関市）

【P4ちょび塩クイズ答え：③】そうめん1束を食べると2.5gの食塩量になります。つゆのつけ方や食べる量、添える具材によっても食塩量は増減します。